

平成 23 年 10 月 3 日

精華町議会

議長 杉浦正省様

提出者	精華町議会議員	森田 喜久
賛成者	精華町議会議員	神田 育男
	精華町議会議員	松田 孝枝
	精華町議会議員	塩井 幹雄
	精華町議会議員	今方 晴美
	精華町議会議員	奥野 卓士

地方財政の充実・強化を求める意見書（案）について

地方自治法第 99 条の規定により、地方財政の充実・強化を求める意見書（案）を別紙のとおり提出します。

提案理由

地方財政をとりまく経済状況は厳しい現状になってきています。しかしながら、自治体の役割は今後ますます重要となっております。地域主権を確立するためにも、2012年度の地方財政予算全体の安定確保に向け、提案するものです。

## 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）

東日本大震災によって、東北・関東では多くの自治体が甚大な被害を受けました。今後は、自治体が中心となった復興が求められます。また、全国の経済状況は依然として停滞しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっています。

とくに、地域経済と雇用対策の活性化が求められるなかで、介護・福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結びつけ、これらの政策分野の充実・強化が求められています。2011年度政府予算では地方交付税について総額17.5兆円を確保しており、2012年度予算においても、震災対策費を確保しつつ、2011年度と同規模の地方財政計画・地方交付税が求められます。

このため、2012年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、政府に次の通り対策を求めます。

### 記

1. 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。
2. 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。
3. 地方財源の充実・強化をはかるための地方交付税確保、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年10月3日

京都府精華町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)、経済産業大臣